



朝晩めっきり涼しくなってきましたが、いかがお過ごしでしょうか。法学類月報第35号では、山本竜大先生のエッセイ、社会保障法合同ゼミのリポート、法学類1年生からの寄稿をお届けします。



## ◆◆教員エッセイ◆◆ 第2回 山本竜大先生（政治コミュニケーション論）

### ◆「ふつうに」+「ヤバい」=？

最近の日常において、若い皆さんの口から二言目には登場する「ふつうに」、「ヤバイ」を耳にする時、その語の用法の意味が理解できず、私の頭の中で「？」が踊ります。これらの言葉を使用する時、みなさんはメッセージとして何を伝え、どんな状況を相手と共有したいのでしょうか。

私たちが「疑似環境」を通じて物事を認知、理解、判断するというプロセスは古くから指摘されています。ただ、技術の発展により、チャンネルが多様化し、様々な特殊効果により事実以外の部分が強調され、「不純物を添加した加工された情報」も増えています。そうすると、物事の本質を容易にとらえにくい環境に私たちが生活していることがお分かりでしょう。この環境下では、より良い選択や決定をするために、私たちは、情報自体の質、出所や根拠を確認する以上に、誰がどのような意図に基づき行動・発言しているかを能動的に分析、精査する心がけが大切であると思われます。

日常生活の中で時間が戻ってこないのと同様に、一旦下した決定や発言には責任を伴います。国や学校の「エライ人」のみならず、あらゆる機会において皆さんも表面的で不確かな言語運用を卒業して、より正確な言葉で物事を落ち着いて自分の考えを伝える心がけをしてはいかがでしょうか。そうでなくても、自分の意思を伝えねばならぬ機会が増えそうな社会状況ですから、社会でみられる各種の情報に対して、一層分析力と表現力を普段から伸ばしたいものですね。私も「ふつうに」ではなく、地道に研究したいと思います。

## Current News

最近の出来事から

### 社会保障法合同ゼミ合宿

社会保障法ゼミは、9月17、18日に滋賀県近江高島の「白浜荘」で行われた合同ゼミ合宿に参加しました。この合宿には、関西周辺の7つの大学が参

加しており、毎年、それぞれの大学による研究発表とその発表に関する議論を行っています。初めて合宿が行われてから 19 回目を迎えた今年は、「子育て・子育てと運用・社会保障」の共通テーマの下、育児休暇、貧困に苦しむ子供の教育、外国人の子供の教育保障、待機児童等の社会問題に関する発表、議論が行われました。



金沢大学の社会保障法・石田ゼミと地域創造学類・棟居ゼミは、共同で「子どものためにすべきこと ～要保護児童の変化と児童福祉のこれから～」というテーマで、暴力等による児童虐待が増加している背景を下に、虐待に遭って保護された「要保護児童」を助けるためにはどのような方法が良いのかを、里親制度に注目して発表しました。多様化する子供の問題に対応するために、専門施設での里親の研修を充実するという私たちのゼミによる提案を行い、それを受けて他大学の皆さんと一緒に積極的な議論を交わすことができました。

法学類 3 年生 山田浩平



## 入学からの半年を振り返って

入学からの半年間はあっという間でした。あらゆる手続きや、新生活の準備、サークルの新歓などに追われ 4 月の頃はとても忙しかったように感じます。今年からカリキュラムがクォーター制になったこともあり、履修登録などで戸惑いもありましたが、授業の面では GS 科目や、初習言語、専門科目などで幅広い勉強ができるため、飽きることはありません。テストやレポート、宿題などは、期限にも追われ決して楽ではありませんが、これから進級していったり、社会人になる準備として有用な経験を積み、着実にスキルを身に付けていけるとと思います。

また、専門科目の先駆けとして「法学概論」を学びました。これから法を学ぶ上で

の基礎の基礎を学びましたが、非常に専門的で高校の暗記勉強とは明らかな違いがあると思いました。それを学ぶことで、これからの専門科目への大きな不安を感じると同時に、興味のある法律学の奥深さを知り、学びへの好奇心を感じています。

大学はやはり高校とは大きな違いがあると思いました。ある程度自由に時間割を組めるし、高校より自由な時間もより、活動範囲や規模も大きくなり、今まで以上に様々なことに挑戦できます。人生で一番時間があるのが大学生だと思うので、残りの 3 年半も娯楽もほどほどにしつつ、様々な活動や勉強をして、将来社会人になった時の肥やしにしていけるよう、有意義な大学生活を送りたいと思います。

金子 朋矢 (法学類 1 年)



法学類 HP  
へGO!



- 法学類の学生、卒業生、教員に関するイベント等の情報を、ぜひお寄せください。
- 関係者の皆様のご寄稿を歓迎します。採用された方には、法学類グッズを進呈します。
- 本誌のバックナンバーは、金沢大学法学類 Web サイトに掲載していますのでご覧ください。<http://law.w3.kanazawa-u.ac.jp//category/brochure/geppo>  
また、メールでの定期配信(無料)をご希望の方は、金沢大学人間社会系事務部 学生課 法・経済学務係 ([n-hkgaku@adm.kanazawa-u.ac.jp](mailto:n-hkgaku@adm.kanazawa-u.ac.jp)) までお申し込みください。
- お読みになってのご意見ご感想は、上記メールアドレスまでお寄せください。